

＜ご挨拶 ～公立久米島病院の特徴と～＞

2022年4月から管理者・病院長を拝命いたしました並木宏文（なみきひろふみ）と申します。2021年4月から当院に副院長として赴任し、1年が経過しました。出身は長野県で、2010年に沖縄県立中部病院に勤務、2014年から2018年はじめまでは与那国島で沖縄の僻地・離島医療に関わり続けて参りました。久米島のみなさまの温かい心使いと人柄に公私共に助けいただきながら、沖縄との縁を大事にして生活しております。この場を借りまして、島民のみなさまに改めて御礼を申し上げます。

さてここからは、当法人と当院について、その特徴と共にご報告致します。公立久米島病院は島内にあるすべての医療機関(例：診療所、歯科医院)・関連機関(例：鍼灸院、介護福祉施設)と連携を取り、24時間・365日医療を“みなさまのインフラ”として機能しています。2000年4月の開院当初は沖縄県と久米島町で構成する沖縄県離島連合組合で運営されてきましたが、2012年4月から現在の公益社団法人 地域医療振興協会が指定管理を受けて運営しています。公益社団法人の定義は、「公益事業を主な目的とし、不特定かつ多数の者の利益を目指し、自法人の利益追求だけではなく、社会に様々な好影響をもたらすべく事業を行う法人」です。地域医療振興協会は、地域医療を支援し、それにより地域の振興を図る目的で発足された日本屈指の歴史を持つ法人です。1986年5月15日に設立、2009年12月1

日に公益社団法人へ移行し、これまで全国各地で地域医療に従事してきた従業員は1万人近くにのぼります(従業員9143名(2021年4月時点))。

当院の医療利用等に係るここ数年の状況(2018年4月～2021年3月)では、外来患者数：約40,000人/年、人工透析数：約4,000件/年、救急患者数約2,700人/年、救急車数280台/年、ヘリ搬送数100件/年(うち15件/年は自衛隊ヘリ)でした。病院外の活動等(例：訪問看護、療育、施設訪問)のニーズも高く、公益性を重視しながら医療提供を続けています。

島民のみなさまには、当法人に多大なご理解・ご協力をいただき、スタッフ一同、感謝しながら、日々、繁忙な業務を行なっています。これからも、みなさまに寄り添い、寄り添い続ける医療者として、感謝と成長を欠かさない所存です。

最後に、当院の3つの基本理念を掲載させていただきます。「1. 患者様が安心できる医療を進めるとともに、病気や健康管理に気軽に相談できる久米島住民の主治病院をめざします」、「2. 久米島の住民と職員が、安心と信頼で結ばれ、心のかよう身近な病院をめざします」、「3. 患者様が満足し、職員が笑顔と優しさで生き生きと働ける病院をめざします」。どうぞこれからも、行政・住民・医療者が三位一体となって作り上げる医療体制を目指すべく、忌憚のないご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

「前向き子育てのススメ④」 子どもの考え方・感じ方を理解する



公立久米島病院
小児科 渡邊 幸

「前向き子育て」では年齢ごとの考え方や感じ方の特徴(=発達段階)を理解することをとても大切にしています。発達段階がわかると、子どもの行動の理由がわかり、効果的な関わり方をすることができます。下記に一部をお示します。

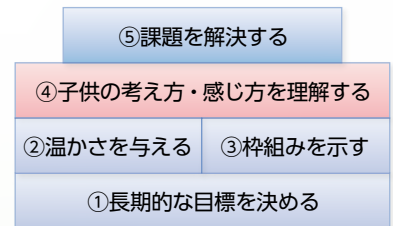
<1-2歳> 色々なところを**探検したい時期**。手で触れて口で味わうことは脳の発達にとっても大切。子どもにとって危険なものがないような環境チェックが大事。安全に探索できることで沢山のことを学ぶことができる。

<2-4歳> 成長による自信が、「**自分でやる!**」の**意欲**につながっている時期。自分でやりたいのに大人が先にしてしまうと感じて、癇癪となることも多い。気持ちに耳を傾けつつ、要求に沿えない時は理由を伝え、収まるのを待つ。この時期は**恐怖を感じやすい時期**でもあり、「〇〇するなら鬼に電話するよ」などの声かけは、恐怖で子どもをコントロールする、子どもの心を配慮しない関わりになってしまう。

<5-9歳> まだまだ**自己中心的な時期**。子どもが自分の欲求や行動をコントロールする力は自己主張の力よりもゆっくりと発達していくため、友達とうまく遊べないよう見えても心配は無用。また、何か注意すると**へ理屈や反論が多くなる時期**。それは自分で考える力、批判する言語力が発達している証拠。子ども自身が自分で気づけるような声かけを心がける。

このように、大人から見ると「いたづら」「わがまま」と思える行動も、子どもにとっては必要な発達のステップです。「**子どもは未熟で不完全**」という捉え方を、「**子どもはそれぞれの発達段階を精一杯生きている**」という見方に変えることは、子どもを1人の人として尊重する上でとても大事な視点となります。

save the childrenのホームページ「おやこのミカタ」で<発達段階シート>という0～18歳までの年齢ごとの特徴が掲載されています。興味がある方はぜひご覧ください。



<図：前向き子育ての4原則>